

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.29

平成25年6月1日発行



元気・いちばん!!



6月定例会の予定・・・P15

3月定例会で決まったこと・・・P2
審議結果・・・・・・・・・・P7
市長の行政報告・・・・・・・・P8
一般質問に6議員・・・・・・・・P9
委員会レポート・・・・・・・・P12
市民の談話室・編集後記・・・P16

求めて、新年度予算決まる

総額 180億6,039万円

一般会計110億7,074万円(前年比0.9%増)・特別会計69億8,966万円(前年比4.6%増)



改修予定の田富第1保育園

3 やすらぎの拠点づくり

- 配食サービス事業……………690万円
- 敬老祝金支給事業……………712万円
- 中央市・昭和町障がい者相談支援センター事業…1,619万円
- ファミリーサポートセンター運営事業…384万円
- HPVワクチン接種事業……………722万円
- ヒブワクチン接種事業……………800万円
- 小児用肺炎球菌ワクチン接種事業…1,000万円
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業 ……930万円
- 不妊治療費助成事業……………200万円
- 保育園施設整備事業……………10,050万円
- 田富南小学校大規模改造工事設計業務…1,735万円

4 活力と交流の拠点づくり

- 中央市3大まつり振興事業……………2,700万円
- 海の家利用助成事業……………204万円
- 土地改良施設等基盤整備事業……………4,877万円
- 国民文化祭事業……………513万円

平成25年度特別会計

会 計 名	予 算 額	前 年 比
●国民健康保険特別会計	31億5,244万9千円	2.6%
●後期高齢者医療特別会計	1億9,603万2千円	▲3.5%
●介護保険特別会計	17億1,719万1千円	3.8%
●地域包括支援センター特別会計	2,612万3千円	▲2.5%
●簡易水道事業特別会計	2億305万8千円	35.8%
●下水道事業特別会計	13億5,306万3千円	9.7%
●農業集落排水事業特別会計	2億6,720万1千円	12.2%
●田富よし原処理センター事業特別会計	5,751万6千円	▲6.7%
●工業用地整備事業特別会計	1,703万1千円	▲63.2%
合 計	69億8,966万4千円	4.6%

上水道事業会計予算

	予 算 額	前 年 比
収益的支出	2億2,947万円	▲23.4%
資本的支出	3億9,264万4千円	89.9%

反対討論

◆中央市国民健康保険特別会計予算

国民健康保険特別会計は、低所得世帯の比率が高く、1割以上の世帯が滞納している。最大の理由は国の負担金が半減していることにあるが、各自治体も住民のセーフティネットとしての役割を發揮することが求められている。国保財政が厳しく、担当課職員もたいへん努力していることは承知しているが、依然として払いたくても払えないような税額であり、財政調整基金の活用や一般会計繰入金増額の求め、国保の運営と会計を見直すことを改めて要望し、反対する。

平成25年度 当初予算

さらにくらしやすさを

3月定例会が3月5日から22日までの18日間の会期で開催されました。

条例案件14件、平成24年度補正予算5件、平成25年度予算11件、その他2件等が提案され、審議されました。

平成25年度 一般会計 おもな事業

1 自治力の拠点づくり

- 庁舎整備基本構想策定業務……………500万円
- 人事評価制度導入事業……………276万円
- 自治会集会施設等建設事業費補助……1,600万円

反対討論

◆中央市一般会計予算

市庁舎整備基本構想策定について、策定業務委託として500万円が計上されている。これは市庁舎の一本化に向けての基本構想ということだが、庁舎統合について市民への説明会や声を聴くといったことは行われていない。そのような状況の中で統合を前提に事業を進めることは問題だと考える。

また、高齢者福祉では敬老祝い金を1,500万円削減し、その予算の一部を肺炎球菌ワクチン接種事業にまわしており、この事業については評価するが、全体として高齢者福祉の後退となっており、賛成できないため反対する。

2 暮らしの拠点づくり

- 地域公共交通活性化事業……………488万円
- 災害用備蓄食料等購入事業……………813万円
- 消防団サポート事業……………63万円
- 住宅用太陽光発電助成事業……………1,500万円
- 豊富地区可燃物積替施設建設事業……1,860万円
- 道路台帳統合業務……………2,386万円
- 橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託事業…790万円
- 市道相生玉穂線舗装補修事業……………4,000万円
- 市道昭和玉穂線舗装補修事業……………3,000万円
- 景観計画策定事業……………760万円
- 市道田富1・6号線及び市道玉穂3253号線改良事業…232万円
- 消防施設整備事業……………462万円



地域の一体感を進める道路づくり

条例制定（一部改正）

◆国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

国営事業でなくなることに伴う関係条例の字句の整理を行う条例を定めました。

◆中央市地下水資源の保全及び採取適正化に関する条例制定

地下水を保全し、採取の適正化に関する条例を定めました。

◆中央市新型インフルエンザ等対策本部条例制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されることに伴い、必要な事項を定める条例を定めました。



臼井阿原地区伊勢神社の自噴井戸

◆中央市証人等の実費弁償に関する条例中改正

公聴会参加者等に対する実費弁償について条例で定めました。

◆中央市自転車等の放置防止に関する条例中改正

東花輪駅前整備による市営駐輪場の地番変更に伴い、改正しました。

◆中央市税条例中改正

納税者の利便性向上及び課税事務の効率化のため条例を定めました。



東花輪駅前駐輪場

条例廃止

中央市住民生活に光をそそぐ基金条例廃止

平成24年度で住民生活に光をそそぐ交付金事業が終了することに伴い、条例を廃止しました。

その他

中央市道路線廃止・認定

旧田富町及び旧玉穂町並びに旧豊富村の道路台帳統合整備事業に伴い、1,779路線を廃止・認定しました。

反対討論

◆中央市敬老祝金支給条例中改正

敬老祝金支給対象者と支給金額の変更を行う条例を定めました。

今回の改正で、1,500万円ほどが縮小される。この予算の一部は肺炎球菌ワクチン接種事業に回っており、この事業自体は必要だと思っている。しかし、高齢者を敬い、長寿を祝うという当たり前のことが行政改革の名のもと、隅に追いやり、大きく後退することを危惧し、反対する。

地域主権一括法により条例が制定されました

1 中央市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定
介護保険法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。

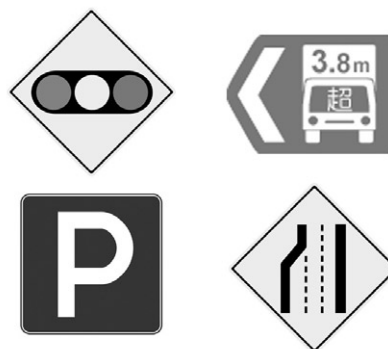
2 中央市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定
介護保険法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。

3 中央市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例制定
介護保険法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。

6 中央市道に設ける道路標識の寸法を定める条例制定
道路法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。

4 中央市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定
河川法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。

5 中央市道の構造の技術的基準を定める条例制定
道路法の一部改正に鑑み、市の条例として定めました。



道路標識の一例

平成24年度一般会計の補正予算

621万円を追加 総額116億1,383万円に

今回の補正予算は、土地開発基金取得用地土地代金や障がい者補装具等支給費などを追加、また下水道事業特別会計繰出金等を減額しました。

おもな補正内容

歳入

- 次世代育成支援対策交付金 210万円
- 土地売払い収入 6,195万円
(医大南部2区画・神明団地5区画)
- 財政調整基金繰入金 ▲4,670万円

歳出

- 土地開発基金取得用地土地代金 6,070万円
(神明団地)
- 障がい者補装具等支給費 150万円
- 下水道事業特別会計繰出金 ▲4,472万円

特別会計の補正予算

- 国民健康保険特別会計（第4号）
155万円を追加し、31億3,635万円
- 下水道事業特別会計（第3号）
4,642万円を減額し、12億3,195万円

一部事務組合議会議員選挙

◆西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会議員選挙

H25.3.31 任期満了に伴う選任

木下 友貴 田中 輝美 小沢 治
井口 貢 福田 清美 大沼 芳樹
田中 一臣

◆日向山恩賜県有財産保護組合議会議員選挙

H25.3.31 任期満了に伴う選任

小沢 治 福田 清美

◆中巨摩地区広域事務組合議会議員選挙

欠員に伴う選任

田中 健夫

◆山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

欠員に伴う選任

井口 貢

追加議案

3月定例会において、人事案件1件、国の追加補正に伴う平成24年度補正予算2件が追加提案され、原案どおり可決、同意されました。

平成24年度一般会計の補正予算

8,516万円を追加 **総額 116億9,899万円に**

- 震災対策農業水利施設整備事業委託料 2,356万円
- 道路ストック総点検業務委託料 2,600万円

特別会計の補正予算

- 中央市下水道事業特別会計補正予算（4号）

220万円を追加 **12億3,416万円**

人 事

◆中央市教育委員会委員の任命について同意を求める件

教育委員会委員1名が平成25年5月16日をもって任期満了することに伴い、萩原弘氏の選任に対し同意されました。



萩原 弘 氏

平成25年3月定例会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム					市 民 ク ラ ブ		公 明 党		日 本 共 産 党	無 所 属		結 果		
		伊 藤 公 夫	小 沢 治	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	名 執 義 高	河 西 茂	小 池 章 治	山 村 一	井 口 貢	小 池 満 男	設 楽 愛 子	田 中 輝 美	木 下 友 貴		大 沼 芳 樹	保 坂 武
条 例 制 定 改 正 廃 止	・ 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件																	可 決
	・ 地下水資源の保全及び採取適正化に関する条例制定の件																	
	・ 新型インフルエンザ等対策本部条例制定の件																	
	・ 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件																	
	・ 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例制定の件																	
	・ 準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定の件																	
	・ 道の構造の技術的基準を定める条例制定の件																	
	・ 道に設ける道路標識の寸法を定める条例制定の件																	
	・ 証人等の実費弁償に関する条例中改正の件																	
	・ 自転車等の放置防止に関する条例中改正の件																	
	・ 税条例中改正の件																	
	・ 敬老祝金支給条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	異 議
	・ 住民生活に光をそそぐ基金条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異 議
平 成 2 4 年 度 補 正 予 算	・ 一般会計補正予算（第5号）																	可 決
	・ 国民健康保険特別会計補正予算（第4号）																	
	・ 下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 一般会計補正予算（第6号）																	
	・ 下水道事業特別会計補正予算（第4号）																	
平 成 2 5 年 度 予 算	・ 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可 決
	・ 国民健康保険特別会計予算																	可 決
	・ 後期高齢者医療特別会計予算																	
	・ 介護保険特別会計予算																	
	・ 地域包括支援センター特別会計予算																	
	・ 簡易水道事業特別会計予算																	
	・ 下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 農業集落排水事業特別会計予算																	
	・ 田富よし原処理センター事業特別会計予算																	
	・ 工業用地整備事業特別会計予算																	
	・ 上水道事業会計予算																	
そ の 他	・ 市道路線廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
	・ 市道路線認定の件																	異 議
人 事	・ 教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

市長の

行政報告

3月
定例会

2期目の集大成として さらなる発展と未来を 見据えたまちづくりを推進し 全力で取り組んでまいります

中央市長 田中久雄

各施策の進ちょく状況

長期総合計画後期 基本計画の策定

前期から継承した基本構想のもと、平成25年度から平成29年度までの5年間の、新たなまちづくりの基本となる施策や事業をまとめました。

第2次行財政改革

61の実施項目とこれまでの基本方針である「行政サービス改革」「市役所改革」「財政改革」に、新たに「公営企業改革」を追加し、独立採算制の原則で収入源の確保と使用料を見直し、経営の健全化を図ります。

市道田富西通り線 建設事業

総延長1、620メートルを3月に完成することができました。関係各位のご理解とご協力の賜と考えております。

JR東花輪駅前広場 整備及び市道田富 2029号線改良事業

車道・コミュニティバス停留所・降車線・タクシー待機所の設置によるロータリー化で、交通の利便性と歩行者の安全性を確保しました。

上水道布施設配水場 更新事業

平成25年度に基本設計に入り、その後地質などの各種調査を行い、平成30年度の稼働を目指し、安全で安定した水の確保と供給を行っていく予定です。

卒業生ブック プレゼント事業

新規事業として、義務教育の終了をお祝いし、読書に生涯親しんでいたくよう中学校卒業生に本を贈る事業で、平成24年度は玉穂中学校・田富中学校を卒業される314名に、記念品として贈呈しました。



田富中学校卒業生
ブックプレゼント

国民文化祭事業

第28回国民文化祭が全国で初めて年間を通じて開催されます。中央市では本年11月5日から6日間、玉穂総合会館で「写真展」と「ハンドクラフト展」を開催する予定です。より多くの皆さまに作品の応募やご来場をいただき、盛大に開催できるように周知・準備を進めます。

市立図書館が全国4冠



日本図書館協会の平成24年度「日本の図書館・統計と名簿2012」で全国の人口3万人未満の同規模自治体中、蔵書冊数・受入図書購入冊数・予算額・貸出数で全国トップになり4冠に輝きました。

Q

リニア開業に伴う
まちづくりは

A

リニア効果を最大限
引き出すよう努める

河西

茂 議員

河西議員 ①中央市リニア活用基本方針の策定は、
②推進体制の整備は、
③リニアの安全性および環境への影響は、
④環境への影響に対する事前の対策は、

市長 ①委員会を25年度に立ち上げる予定。JR東海が秋以降公表するルートと駅位置および環境影響評価を勘案し、2年程度をかけ策定したい。
②新年度から、リニア担当部署を明確にする。



架け替え中の浅原橋（県事業）

③安全性は実験線での走行試験で、営業運転に支障のないレベルに達しているが、最悪のケースを想定し対応を考えることが必要。
④現在、環境影響について調査・評価が行われている段階。具体的に示されたら対策等検討していく予定。

河西議員

①中央市地域防災計画の見直しは、

②中央市防災マニュアル等の見直しは、

③防災・減災についての定例議会での質問、提言等に対する反映は、

市長

③質問や提言を踏まえ、より実践的な防災訓練、災害弱者対策、自主防災組織の強化を図り、早期避難体制に結びつけ、

耐震化・老朽化対策、災害援助協定の推進等を実施、検討している。

教育長 ③児童・生徒の避難および引き渡し訓練の強化、備品等の固定、ガラス飛散防止工事を実施。今後は計画的に耐震化等に取り組んでいきたい。

Q

GMOフリーゾーンづくりを
（遺伝子組み換え作物のない地域）

A

生産・販売から消費に至る
安全に努める

総務部長 ①県防災計画の修正版との整合性、制度改正を含め、17項目を見直しのポイントとして改訂した。

②地域防災計画の内容を要約し、液状化マップなどを盛り込み、全戸配布を予定している。

名執 義高 議員

名執議員

①山梨県食の安全・安心推進条例施行後の市の取り組みは、

②農産物のブランド化と保護は、

③エコファーマー制度について、

④学校給食における遺伝子組み換え食品の取り扱い、

⑤生物多様性農業の遺伝子汚染の観点からGMOをどのように認識しているか。

⑥GMOフリーゾーン運動は、

農政観光部長

①道の駅

とよとみ、農事組合法人た・からの両施設は、新鮮な農畜産物を提供するとともに、搬入者に適切な農薬使用の徹底を図っている。

②豊富地区の手作りハム・ベーコンは、県の認証を受け、地元ブランド化の保護を行っている。25年度、ヒノヒカリをブラン

ド米として商標登録を行う。

③新規認定・再認定を行い、新鮮・安心・安全の農作物の栽培に取り組んでいる。

⑤除草剤耐性や害虫抵抗性を持たすことで農薬使用を減らすことができる反面、遺伝子が花粉によって雑草へ組み込まれてしまう等が懸念されると認識しています。

⑥GMOフリーゾーンの取り組みが、国内外で行われている。本市は新鮮・安全・安心の農畜産物を推進している。今後の状況を見て検討する。

教育長

④大豆・とうもろこし等の使用頻度の高い食品のうち、生鮮品は

地場産物使用を心掛け、加工品は国産の使用が基本。標示義務のある食品は遺伝子組み換えでないものを使用している。県条例に則った食品のチェック、検査証明書の提出など給食の安全に努めている。

田富町土地改良区について

A 未収金を整理し 解散に向け対処する

小池 章治 議員

小池議員 ①合併後の土地改良区の状況は。

②未収金対策と解散は。

農政観光部長 ①事業は

終了しているが、未収金の処理が終わっていない。解決策がないまま現在はい

休眠状態。今後は、総代会を開催する準備を進めたい。

②未収金の多い地区は個別の話し合いをしたが、



計画中の旧田富・玉穂・大津線

平行線をたどっている。過去の役員の協力を得て、不公平が生じないように指導したい。

小池議員

中央市長期総合計画・後期基本計画について伺う。

①後期基本計画の目玉となる施策は。

②定住人口の確保施策は。

③施策と連動した財政計画は。

④リニア中央新幹線の活用策は。

市長 ①行政サービスの

ワンストップ化、市内アクセス向上、こころの健康づくり支援、特産農産物のブランド強化を図る。

②優良企業の誘致、雇用の拡大に努める。

③主要事業のヒアリングを踏まえ、見直し等を図

っていく。

④県のリニア活用基本構想を踏まえ、市独自の活用策を検討したい。

小池議員 道路・水路の

計画的な補修と整備は。

農政観光部長 精査・調

整・協議を行い、計画の策定をしていく。自治会

要望の約50%が実施済み。

建設部長 橋梁長寿命化

計画を策定中。幹線道路は国補対象事業として実

施。自治会要望は512件のうち207件が未実

施。

Q 介護保険・住宅改修 受領委任払い制度の創設を！

A 制度の周知を図る

設楽 愛子 議員



介護用に改修したトイレ

設楽議員 居宅介護住宅

改修の支給実績は。

保健福祉部長 23年度の

申請は58件、支給総額534万円。本年度も同

様の実績となる見込み。

設楽議員 ①高齢者の移

送サービスの提供について伺う。

②ボランティアセンターの設置は。

③介護保険未利用者へのタクシー料金の助成は。

市長 ①実現性について社会福祉協議会と協議し

ている。

保健福祉部長 ②ボラン

ティア人材バンク設立の準備中。

③対象者の把握が難しい。今後の検討課題。

設楽議員 災害応急用井戸の登録の必要性和協力

者、協定締結の現状は。

総務部長 井戸水につい

ては、飲用に適したもの

が何件あるのか、災害時に有効活用できるか検討

したい。協力者の把握、協定締結は現在してい

ない。

設楽議員 今回の国の大

型補正予算をどのように

評価し、どのように活用

しようとしているか。

市長 日本経済の再生に

向け、景気回復に大いに

期待し評価する。道路や

水路の改修工事、下水道

整備工事などインフラ整備に活用したい。

設楽議員 一刻も早く胃

がん検診にピロリ菌検査

の追加を。

市長 今後の研究の進展

や国の動向を注視し、対応していく。

市営住宅入居条件の緩和について

A 例外規定を設けている

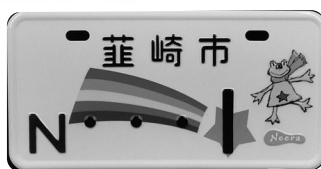
田中 輝美 議員

田中議員 市営住宅の入居にあたって連帯保証人の資格要件の緩和は、

市長 市の広告塔となり、ふるさとへの愛着を深めることが期待できるが、制作費が高くなることなど、デメリットもある。費用対効果など、他市町村の動向も見極め研究したい。

建設部長 市営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で住宅を供給することを目的に設置され、入居要件として連帯保証人を必要としている。保証人の転出・死亡等の異動を的確に把握するため、市内在住者が原則だが、他市町村からの転入等の場合、例外規定を設けている。現在入居している224世帯のうち、28世帯が市外の県内在住者が連帯保証人となっている。

田中議員 中央市のPRと地域振興の観点から、原動機付自転車ヘオ리지ナル・ナンバープレートを導入しては、



導入市のご当地ナンバープレート

国民健康保険について

A 厳しい財政状況にある

木下 友貴 議員



木下議員 ①低所得者に対する減免は、

②滞納に伴う差押え対象者の所得、差押え額は、

③短期保険証の留め置きは、

市民部長 ①市の条例や取り扱い要綱で国保税の減免を定めている。

②所得33万円以下2世帯、差押え金額32万5千円、100万円まで1世帯、31万7千円、200万円まで8世帯、87万1千円

300万円まで5世帯、77万円。不明9世帯、39万円。

③短期保険証を発行している世帯は、24年4月現在、527世帯、留め置き290世帯。子どもには有効期限6カ月の保険証を全員に届けている。留め置き最長は3年8カ月。

木下議員 ハウス農家への厳冬・燃料高騰時の支援制度の創設について。

市長 燃料代への補助、ビニール二重化などの省エネ対策への支援制度については、国の補助動向を見て対応したい。

木下議員 小規模事業者登録制度について。

市長 現時点で、登録制度の導入は考えていないが、市発注の小規模工事については、地元業者を中心に、可能な限り個人事業者にも随意契約している。

木下議員 中央市の元氣臨時交付金から生まれる財源はいくらか。

市長 確定していないが、財政力を除く通常の8割で試算した結果、約4、900万円程となる。

質問内容の詳細については市ホームページを参照ください。
<http://www.city.chuo.gamanashi.jp>



トマトのハウス栽培

総務教育常任委員会

審査ポイント

生活バス路線維持事業の負担増の原因は

▼中央市住民生活に光をそぐ基金条例廃止の件

〈財政課〉

問 条例廃止により基金の残額は。

答 本年度事業に基金全額を充てるので残額は生じない。

問 基金廃止による財務処理は。

答 基金利子も含め全額取り崩し、事業に充当する。

▼平成24年度一般会計補正予算(第5号)

〈総務課〉

問 生活バス路線維持事業について、どのような経緯で負



山梨大学医学部付属病院
新病棟建設試掘調査

担増になったのか。

答 本市の他、昭和町や甲斐市、甲府市など赤字バス路線の沿線自治体に対し、昨年11月に山梨交通から赤字増大に伴う補助金の増額要望があった。沿線自治体で構成する協議会において要望内容を協議し、赤字増加分の増額補助を決定した。平成25年度の予算についても、この決定に基づく要求となっている。

〈生涯教育課〉

問 試掘調査事業について、調査面積は。

答 この試掘調査は、山梨大学医学部付属病院の新病棟建設に基づくもの。調査は山梨大学医学部内の概ね100㎡程度。

〈請願審査〉

▼地方自治と民主主義を守る立場から、沖縄全自治体の総意を尊重し、日本政府に対し、米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と全国での低空飛行訓練中止を求める意見書の提出を求める請願【継続審査】

厚生常任委員会

審査ポイント

地下水を採取するのに届出は

▼中央市地下水資源の保全及び採取適正化に関する条例制定の件

〈環境課〉

問 現在地下水を採取するにあたって、届け出る義務はないのか。

答 現在は、「中央市地下水採取の適正化に関する条例」の規定により豊富地域のみ届出を受けている。旧田富、玉穂地域は「山梨県地下水源の保護および採取適正化に関する要綱」に基づき届出を受けていたが平成24年10月にこの要綱が廃止になったため、この条例の制定が必要となった。

▼平成24年度一般会計補正予算(第5号)

〈子育て支援課〉

問 保育対策等促進事業について、減額補正の内容は。

答 保育対策等促進事業は、みかさ認定保育園の延長保育が該当する。事業補助の要件である「1日1人以上の受入」の実績がないため減額するもの。



元気に遊ぶ保育園児

問 市立保育園の保育士の状況は。

答 臨時保育士の退職により7名の保育士が不足していた。2月に臨時保育士5名を採用したが、2名は不足している。平成25年度の入園希望園児数をもとに保育士を配置すると74名の保育士が必要となり、引き続き不足のないよう対応する。

産業土木常任委員会

審査ポイント

道路台帳統合事業の内容は

▼中央市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定の件
へ建設課

問 河川環境や生態系への配慮は。

答 第20条で床止めを設ける場合の規定がある。

問 構造物に関する規定以外に環境等へ配慮する規定は。

答 この条例は、準用河川に係る構造物の基準を定めるもので、河川に係る全てを規定するものではない。

▼平成24年度一般会計補正予算(第5号)

へ建設課

問 道路台帳統合事業の詳細な内容を。

答 総事業費は約6、400万円。全ての道路情報がGPS機能を取り入れデータベース化され、今後、道路網図などはPCで管理することになる。安易に道路延長、幅員など道路情報を得ることが



大鳥居地区の準用河川に架かる橋

可能になるとともに、このデータ上に上水道、下水道情報も重ね合わす事ができるため、一元的に管理することが可能になる。

問 農道台帳のデータベース化は。また、条件を満たす一部の農道を市道へ変更する考えは。

答 農政課と協議し、今後検討する。

予算特別委員会

審査ポイント

庁舎整備基本構想は

▼平成25年度一般会計予算
へ政策秘書課

問 庁舎整備基本構想策定検討委員会の設立及び委員の構成は。また、庁舎建設の予定時期は。

答 基本構想は平成24年度に策定する予定であったが、合併特例債の発行期限が延長されたため、事前の基礎調査に止めた。平成25年度に基本構想を策定し、平成26年度に市民説明会の開催を予定している。

へ危機管理室

問 防災士育成補助金事業の内容は。

答 地域防災力の向上を目的に防災士の育成を図る事業で、防災士研修講座を受講する者に対し、受講料53、000円、受験料3、000円、資格認定登録料5、000円の計61、000円を補助するもの。

へ教育総務課

問 田富南小学校大規模改造工事について、良好な学習環境



大規模改造予定の田富南小学校

境を創出するための特別な改修は。

答 基本的には既存校舎の改修で増築等はおこなわないが、学習スペース(フリースペース)を拡大し、より学びやすい環境を創出する。

問 豊富小学校老朽化調査改修検討業務委託について、校舎改修に併せて校庭改修も必要であるがそれらの調査も含むか。

答 校庭改修調査は含まれていない。

予算特別委員会（続き）

▼平成25年度一般会計予算

＜環境課＞

問 住宅用太陽光発電助成事業について、平成24年度の助成実績及び今後の見通しは。

答 実績は、平成25年2月末で188件、23、667千円。この助成事業は、平成27年3月で終了する。新築と同時に太陽光発電を設置するケースが多いので、今後の見通しは難しい。

＜福祉課＞

問 中央市・昭和町障がい者相談支援センターについて、相談件数等実績は。

答 12月末で約3、000件の相談があった。多くの相談件数に対応するため、現在、専従1名、非常勤3名で対応しているが、平成25年度から常勤2名、非常勤2名体制にする。

＜建設課＞

問 公営住宅除去事業について、住宅3棟の解体箇所は。

答 飛石団地内の3棟

問 橋梁長寿命化修繕計画の事業概要及び市内の耐荷橋の数は。

答 すでに計画済の橋梁のうち、新たに補修が必要となった橋梁について計画の修正を行う。耐荷橋は25tが10橋、20tが27橋、14t未満が22橋ある。

＜農政課＞

問 農業振興費について、農産物産地消推進事業及び高付加価値農産物支援事業の内容は。

答 農産物産地消推進事業では、特産品を各種イベント等で宣伝、教育ファーム等を実施する。高付加価値農産物支援事業では、中央市ブランド米「ひのひかり」を商標登録する。

▼平成25年度国民健康保険特別会計予算

＜保険課＞

問 保険税の減収は加入者の減が要因であるが、反して医療費が伸びているのはなぜか。

答 加入者は前年度より86名減少している。

医療費の伸びは、医療の高度化、受診件数の増加などによる。疾病別では、がん、消化器、循環器、生活習慣病など高額医療が増えている。

▼平成25年度介護保険特別会計予算

＜高齢介護課＞

問 介護及び介護事業を展開していく上で、専門職員は必要不可欠である。専門職員の配置の現状は。

答 地域包括支援センターは、社会福祉士、主任ケアマネ、保健師を配置することになっている。本市の地域包括支援センターには、社会福祉士1名、主任ケアマネ2名、保健師3名が配置されている。

▼平成25年度下水道事業特別会計予算

＜下水道課＞

問 設置予定の非常用マンホールトイレの概要は。

答 玉穂南小学校校舎北側に設置を予定。従来のマンホールの上に便器、テントを設置する簡易的な非常用トイレではない。マンホールの上にプレハブを2棟設置し、1棟内に3基の個室トイレが確保できる。トイレは組立式のため、平常時は防災倉庫として使用する。



障がい者相談支援センター「穂のか」



老朽化が進む飛石住宅

議会広報編集委員会・行政視察研修報告

平成25年2月5日～6日

中央市の議会活動を「議会だより」によって、年4回市民の皆さんにお届けしていますが、より親しんで読んでいただく「議会だより」のために、先進的な取り組みをしている中核都市の市議会2箇所の視察研修を行いました。

第1日 滋賀県大津市議会

大津市は琵琶湖の南西に隣接する人口34万人の都市で、市議会の議会広報活動、議会改革は先進的です。特に広報コンクールでは優秀賞を受賞しています。「おおつ市議会だより」は年間5回の発行、議会活動状況を市民に周知、議会への関心を高め、理解を深める事を基本姿勢として取り組んでいます。広報の表現はあえて正式名称を简单化し、工夫しています。市議会だよりの速報版として「“はやうち”市議会だより」をインターネットで配信しており、特徴的取り組みです。

また、議会改革も熱心であり、インターネット議会中継の実施、通年議会開催（25年4月予定）等、意欲的な取り組みをしています。

第2日 愛知県岡崎市議会

岡崎市は愛知県のほぼ中央に位置し、人口37万人を超える歴史と伝統のまちです。大津市議会と同様に先進的な議会活動・広報活動で、広報コンクールで最優秀を受賞し、常に親しめる議会だよりをめざしています。「おかざき市議会だより」は、昭和24年に創刊した歴史ある広報紙です。発行回数は年5回、臨時号も別に発行しています。拡大文字、季節感のある表紙、写真やイラストの配置等、新聞と同じ表現意識で親しみやすい広報紙です。

議会改革の取り組みも活発で、インターネットで議会中継、質問は一問一答方式でも可能であり、市民に分かりやすいとのこと。今後参考となる研修成果を得ることができました。

平成25年6月定例会の予定

6月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に、傍聴においでください。

11日(火)	午前10時	開 会
13日(木)	午前10時	一般質問
14日(金)	午前10時	一般質問
17日(月)	午前9時30分	総務教育常任委員会

18日(火)	午前9時30分	厚生常任委員会
19日(水)	午前9時30分	産業土木常任委員会
21日(金)	午前10時	閉 会

※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議会の動き

1月

4日 役職員新年互礼会
6日 消防出初式
11日 議員全員協議会
13日 成人式
16日 広報編集委員会
20日 議員全員協議会
23日 議会運営委員会
29日 甲府地区広域行政事務組合議会臨時会
30日 第1回臨時会
31日 議会運営委員会

2月

4日 広報編集委員会
5日 広報編集委員会先進地視察研修（1日目）
6日 広報編集委員会先進地視察研修（2日目）
12日 山梨県市議会議長会後期議員合同研修会
13日 一般質問通告調整会議
14日 2市1町正副議長・事務局会議

15日 議会運営委員会
19日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
22日 第2回臨時会
26日 議会運営委員会
27日 青木が原ごみ処理組合第1回定例会

3月

5日 第1回定例会開会
13日 市立中学校卒業式
19日 市立小学校卒業式
21日 西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会
大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会
22日 第1回定例会閉会
25日 東八代広域行政事務組合第1回組合議会定例会
27日 市立保育園卒園式
甲府地区広域行政事務組合3月組合議会定例会
28日 三郡衛生組合第1回定例会
中巨摩地区広域行政事務組合議会3月定例会



市民の談話室



神明
三枝 幸



沖縄三線でみんな兄弟

中央市豊富神明地区に引っ越してきて6年。趣味の沖縄三線を通じて、地域の皆さんと交流してきた。

シルクの里デイサービスセンターに演奏に訪れた時は、利用者の皆さんが私たちの演奏に合わせて、楽しそうに口ずさんだり、手拍子をしてくれたり。ボランティアのつもりで演奏していたはずなのに、逆にパワーをいっぱいもらっている。

角川地区の春祭りにはこのところ毎年、声をかけていただいている。一緒に「アッリ！かんぱ〜い！」と歌って踊って盛り上がると、なんだか地域の仲間に入れたような気分になる。

沖縄の方言に「いちやりばちょーでー」という言葉がある。「一度会えば、みんな兄弟」という意味だ。

沖縄三線を通して、これからも中央市に「兄弟」が増えていったらいいなと思う今日この頃である。



山之神
利根川 圓



「違い」が「格差」とならないように！

聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つとして、各地の手話講習会等で手話を学ぶ人達が増えてきましたが、まだ十分普及しているとはいえません。社会の中で人間らしく生きるためには、他者との自由な会話が不可欠です。手話通訳者は、聴覚障害者が自分の思いを自由に伝え、また相手のことを知るための仲介者です。私は今、南アルプス市の設置手話通訳者として働いています。日々の仕事は、通訳業務だけではなく、市役所からの諸々の通知書の解説や生活相談等です。聴覚障害者は、来庁すると手話で語り合える通訳者の所に先ず来ます。ですから、話を丁寧に聴き、それぞれの担当部署に繋げ、連携しながら支援していくことが必須です。

今日、様々な事業が県から市町村へと位置づけられました。市町村における「意思疎通支援事業」の違いが、聴覚障害者にとって大きな格差とならないことを願っています。

編集後記

新年度がスタートし、児童、生徒、学生、社会人それぞれの分野で新たな出会い、新たな挑戦へと瑞々しい息吹で自分史を築いている事と思います。

議会においても、3月定例会は新議長のもと、各常任委員会も新体制で、補正予算・当初予算共に様々審議を重ね無事閉会いたしました。

地方行政の安定こそ力であり、市民生活のすべてを強くする道であると痛感します。

長期総合計画後期基本計画がスタートした25年度は、中央市の個性を発揮し、大きく前進する市政への

期待のつぼみも膨らみます。

私たち編集委員は市民の皆様に議会活動が伝わり、わかりやすい紙面作りに工夫を重ねてまいります。皆さまの声を是非、議会だよりにお寄せください。

[田中 輝美]

議会広報編集委員会

委員長	田中 輝美
副委員長	木下 友貴
委員	河西 茂 名執 義高
	小池 満男 福田 清美